



日常の中で小さな幸せを沢山 見つけられるような人になってい きたいと思いました！

【学習面】

平日は毎日グループレッスン2コマ、個人レッスン4コマを2週間受講しました。短期間だったのもあり、英語力の大幅な向上はしていないと思いますが、自分に自信を持つことに繋がりました。

週末には海上スラムと墓地スラムのボランティア活動に参加しました。行く前はネガティブなイメージが強く、緊張していましたが、いざ子供たちと触れ合うと笑顔が溢れていて、地域全体で協力し、支え合っているような社会になっていたと感じました。現在の日本ではあまり見慣れない環境でしたが、必ずしもその環境や金銭的に余裕がないことが不幸につながっているわけではないことに気づかされました。

【生活面】

個人的にはフィリピンの明るく、フレンドリーでポジティブな空気がとても気に入りました。

QQ English で共同生活をともに送り、同じように英語を勉強し

ている人と出会い、そして仲間意識を持ち、お互いを高め合える関係となり、より一層英語を学ぶ意識が向上し、自分にも自信が持てたと感じています。

また、日本についての知識をより身につける必要があるとも感じました。これからは自国の文化や習慣にも疑問を持ちながら過ごして、日本のことについて質問された時には日本人として自信を持って答えられるようになりたいと思います。

【安全面】

一番気をつけていたことは交通面です。バイクや車などが非常に混雑した状態で走っている間を素早く通るような形で道路を横断していました。周りをよく確認しながら、タイミングを計って急いで渡らなければならなかったのも、常に緊張感をもって移動していました。

また、スリにも気をつけており、ショルダーバッグを常時自分の前で持ち、必要がない時はスマホや財布を外に出さないようにしていました。そのおかげで、犯罪などに遭うことはなく過ごせました。

【感想】

17 日間という短期間でしたが、私の人生に大きな刺激となりました。英語を話すことに対する抵抗感も劇的に減り、積極的に自分から英語でコミュニケーションを取ることができるようになりました。普通の海外旅行では絶対に経験できないような環境で生活することができ、本当に幸せで充実したフィリピン生活でした。



行く前と後でフィリピンのイメージが変わり、何事も体験してみることが大切だと思いました。

【学習面】

平日は毎日マンツーマンの授業 4 コマとグループレッスン 2 コマを受けました。マンツーマンでの授業では日常で使う単語やフレーズ、旅行で使えるフレーズを先生とロールプレイングをしながら学ぶことができました。また、先生からの質問に素早く答えるカランメソッドの授業では、授業の回数を重ねるにつれて、徐々に英語で質問された内容を日本語に介さずに理解し、早く答えられるようになりました。

グループレッスンでは、身近なトピックをテーマに意見を伝えあいました。他国の生徒もいたので、フィリピン以外の国の文化についても知ることができました。

【ボランティア活動】

ボランティア活動で訪れた海上スラムの家は、海の上に竹や木材で柱を建てており、床も竹や木材を重ねているだけで、いつ壊れてもおかしくないような感じてした。QQ English の近辺には高層

ビルや建設中の建物が多くありましたが、海上スラムでの家や生活を見て、フィリピン国内での格差も大きいことを学びました。スラムでは日本では考えられないような生活をしているにも関わらず、笑顔で明るい子供たちを見て、色々考えさせられました。

【生活面】

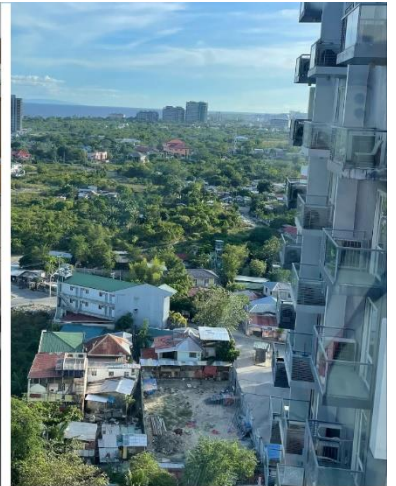
フィリピンでは朝にシャワーを浴びて仕事や学校に行くことを知りました。朝 1 コマ目の授業の際に髪の毛が濡れているフィリピン人の先生を多く見かけ、日本との文化の違いを感じました。

食事でもフィリピン人の先生たちは手を使って食べていたり、ビニール手袋をつけてご飯を食べている先生もいました。また、ビニール袋に白米やおかずを入れて持ち歩いている先生もよく見かけました。

スーパーなどのお店では店員がお店で流れている音楽に合わせて歌ったり踊ったりしていて、買い物していてとても楽しくなりました。日本よりも自由度が高く楽しそうに働いているな、と感じました。

【感想】

日本では体験することのできない多くのことを体験し、日本とは違う文化や生活について学ぶことができ、留学に参加してよかったなど実感しています。留学に参加したこと、もっといろんな国の人と英語でコミュニケーションを取りたいと思うようになりましたし、もっと英語を勉強したいという気持ちが強くなりました。短期間の留学であつという間でしたが、とても有意義な 17 日間になりました。



留学を通して、失敗を恐れることなく、自分に自信を持って挑戦する気持ちを強く持つことができました！

【学習面】

先生と一对一の授業でリスニング力とスピーキング力がついたと思います。カランメソッドではスピード重視で話す授業で、始めは慣れない速さに驚き、ほとんどついていくことができなかったが、授業回数を重ねるごとに自然とスピードに慣れ、先生よりも先に話すことができるようになりました。韓国やベトナム出身の方と一緒にクラスだったので、同じ単語でも発音の違いがあることをグループレッスンで知ることができました。

【ボランティア活動】

2 度のスラム訪問では現地の人々の生活環境を知ることができました。海上スラムでは、海の上に建てられた木造の家で多くの人々が暮らしており、通路には所々穴が空いており危険な場所もありました。今回訪れたスラムは、日本人に対して暴力的なことを行った

り、犯罪を犯すことはないそうで、むしろ日本が大好きという子が多く、一緒に折り紙遊びをした子供は毎日日本語の勉強をしていると話していました。

墓地のスラムで暮らす人々は、お墓の掃除を行うことでお墓の持ち主からお金をもらって生活をしているとのことでした。他にもキャンドルを作って生計を立てている人も多くいました。電気や水道は通っておらず、井戸水を汲んでシャワー代わりにしていました。墓地スラムの子供たちは英語が話せない子も多かったです。

【生活面】

注意すべきことは渡航前に確認をして、実践していました。しかし、10 日ほど経った日に急性胃腸炎になりました。40 度近くの熱と腹痛、頭痛といった症状があり、3 日間入院することとなりました。入院中に感じた日本との違いの 1 つ目は病院食に揚げ物や味の濃い料理が出たことです。2 つ目は夜中に看護師さんたちが歌を歌っていたことです。夜中の 2 時頃、ナースステーションで大きい声で歌を歌っており、夜寝れないこともありました。3 つ目は入院時には家族も一緒に病室で過ごすということです。1 つの病室に多くの家族が集まっている部屋もありました。

【感想】

今回、留学するにあたって、出発前から日々の日記をつけるようにしていました。1 日を振り返り、明日の予定を確認することでより充実した日々を送る習慣ができました。



フィリピンでの生活は異文化交流の場であり、現地の人々と触れ合うことで沢山の新しい発見がありました！

【学習面】

グループレッスンでは、台湾やモンゴル、韓国など様々な国から来た留学生と授業を受け、最初は彼らの英語力についていくのが必死で焦りも感じましたが、授業が進むにつれて、そのレベルに追いつき、異文化交流を楽しむことができました。特に英語で他国の習慣や価値観を学べたことは貴重な経験でした。

個人レッスンでは、先生との世間話もリラックスした雰囲気英語を使う練習になり、授業を重ねるごとに自信ができました。

【ボランティア活動】

海上スラムでは、会場に建てられた小さな家々の中で多くの家族が非常に厳しい生活環境で暮らしていることを目の当たりにしました。墓地スラムでは、墓地の中に人々が生活しているという衝撃的な現実を知りました。環境や生活の不安定さが現地の人々に

とって深刻な課題であることを実感し、価値観や視点が大きく変わるきっかけとなりました。

貧困層の子供たちの笑顔は、貧困という現実にも関わらず、前向きに生きようとする姿勢を感じさせてくれました。

【生活面】

日本の水道水の安全性や食べ物に対する厳格な衛生管理がいかにありがたいことであるかを強く感じました。食事や飲み物に特に気をつかわずに生活できることがどれほど貴重かを再認識し、その安全性に感謝の気持ちを抱きました。フィリピンでの経験を通して、衛生面への意識が高まり、今後は自分の健康を守るために、食事や飲み物の選択肢により一層気をつけようと思いました。

【感想】

現地での社会問題について考える機会が多く、特に環境問題や貧困層の生活について深く理解することができました。この経験を通じて、語学だけではなく、社会貢献に対する意識が高まり、これからは英語を使って国際的な視野を広げ、社会的な問題に取り組む活動にも積極的に参加していきたいと考えました。

将来は立派な看護師になり、現場での経験を積み、国際的な視点を持って、発展途上国での医療支援や予防医療の普及活動にも取り組んでいきたいです。より多くの人々が健康で安全な環境で生活できる社会づくりに貢献したいと考えています。



今回学んだ”当たり前”の違いは、 将来様々な場面で活かしていきたいです。

【学習面】

授業中にフィリピンの文化や歴史、社会問題などについて教えてもらうこともあり、教科書だけでは学べない生きた英語と知識を身につけることができました。グループレッスンでも年齢や国籍が異なる様々な人達と意見交換をする中で、文化や考え方、価値観の違いを知り、議論を通して多角的な視点を持つことの重要性を学びました。

【生活面】

マクタンニュータウンは観光地として整備されており、治安もよく比較的快適に過ごすことができました。しかし、一步ニュータウンを出ると、舗装されていない砂の道や、貧富の差を象徴するような光景が広がり、フィリピンの現実を目の当たりにしました。特に、道端で寝ている人々を頻繁に見かけたことは、日本との大きな違いであり、衝撃を受けました。

食生活の変化や慣れない環境から体調を崩し、胃腸炎で3日

間入院しました。入院中は言葉の壁に苦勞をしましたが、看護師の方々が親身にサポートしてくださり、安心して治療を受けることができました。

【感想】

語学学校での学習を通じて、英語でのコミュニケーション能力を向上することができました。特に、グループレッスンでは自身の視野を広げる貴重な経験となりました。

また、入院を通して、フィリピンの医療事情や文化の違いを学ぶことができました。看護師の方々の温かいサポートに感謝するとともに、将来国際的な視野を持って活躍できる看護師になりたいという思いを強くしました。

スラムでのボランティア活動では、貧困問題や社会問題について深く考える機会を得ることができました。スラムで生活する子供たちの笑顔は本当に輝いており、多くのことを教えてくれ、自分に何かできることはないかを考えるようになりました。

今回の留学を通して、”当たり前”が違うということを学びました。住んでいる場所や周りの環境によって、個人の常識が構築され、その常識に沿った行動となるため、その人の行動の理由を知ることや理解しようとする姿勢が必要だと学びました。

将来は、医療従事者として海外で働きたいので、これからも英語の学習を続け、異文化への理解も深めていきたいと思っています。